

問 弥富の文化伝承を！

答 引き続き多世代へのPRに努める



鈴木 りつか 議員 無会派

問 弥富市文化協会の登録団体数、会員数とその推移は。

答 **【教育部長】** 団体数は32団体、会員数は448人。昨年と比較すると団体数は1団体減少、会員数は1.36%増加。

問 伝統文化継承活動を維持するための支援は。

答 地域の伝統芸能に対して、1地区8万円の支援、山車など道具整備にも支援を実施。大規模な修繕等には県の補助事業を活用し、自治会や保存会の負担軽減に努める。

問 無形文化伝承活動奨励補助事業の利用実績は。

答 令和4年度13地区、令和5年度31地区、令和6年度34地区。

問 洋邦楽舞発表会の参加人数、観覧人数実績は。

答 参加人数は234人、観覧人数は延べ368人。

問 弥富市文化芸能大会の参加人数、観覧人数実績は。

答 参加人数は8地区9種目約100人、観覧人数は把握していない。

問 どちらも高齢化が危惧されるが、今後の維持、会員数の増加を図るための取組は。

答 市ホームページで活動をPRしている。イベント、特別企画、講習会にも力を入れ、文化協会の魅力を伝える。学校や地域の団体と連携し、若い世代が文化に触れる機会を推進し、文化活動の魅力を喚起し、将来的な会員の基盤を築く。



問 弥富音頭・十四山音頭を学校で

答 授業に組み込むよう努める

問 弥生小学校で「弥富音頭」を運動会で踊る機会がなくなったのはなぜか。

答 **【教育部長】** 昨年度より運動会の内容を見直し、運動会当日までに踊れるよう指導するのは難しいと判断した。

問 十四山地区では「十四山音頭」を学ぶ授業が行われている。各小学校でも「弥富音頭」を学ぶ授業を行っているか。

答 各授業のカリキュラムの中に組み込むよう市校長会に伝える。

問 総合学習の授業で、文化協会の活動を学んでもらう機会を作っては。

答 学校のカリキュラムに沿うものがあれば、文化協会に指導してほしい。

問 弥富市独自の文化を守っていく取組は必要だと思いが、市長の考えは。

答 **【市長】** 地域の参加型イベントや文化団体発表会等を通して文化の伝承に繋げる。市と地域が一体となり独自の素晴らしい伝統を守り続けたい。

